

ID <sup>注1)</sup>	164101	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>		保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	--	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	平成28年度十二湖ブナ林モニタリング調査	発行年月/報告年月	
		2017年	1月
		資料形式 <sup>注2)</sup>	

調査機関	青森県深浦町立岩崎中学校	委託機関	
------	--------------	------	--

調査開始年	2005年	6月	調査期間	2016年	5月	～	2016年	11月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 <sup>注2)</sup>	毎年	—	調査時期 <sup>注2)</sup>	春	夏	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 <sup>注2)</sup>	IIA	大区分 <sup>注2)</sup>	1	小区分 <sup>注2)</sup>	(1)
----------	------------	-------------------	-----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>	調査手法
------------------------	------

<input type="checkbox"/> 核心地域 <input type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域  <input type="checkbox"/> GPS等の位置データあり	<input type="checkbox"/> 調査項目 ブナ林動態調査 <input type="checkbox"/> 調査箇所数 十二湖地内1カ所 <input type="checkbox"/> 調査面積 50m×50m(データ比較時は1ha当りに換算) <input type="checkbox"/> 調査手法 成木調査は年1回実施。 種子・リター調査は4月下旬(ゴールデンウィーク前)にリタートラップを設置し6～11月リター回収、11月リタートラップ撤収。  <成木>・・・胸高直径 5cm 以上の樹木を対象 胸高直径、位置  <種子・リター>・・・0.5 m <sup>2</sup> のリタートラップ×10 個/サイト 1 か月ごとに回収、仕分け 種子数(状態:虫食い、しいな、健全) リター量  <気温・湿度・地温>・・・通年、1時間毎に自動測定
---	--

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

<ブナ林>  
 十二湖ブナ林のBaは、2005年(H17) 35.7m<sup>3</sup>/haと、国内のブナ林標準値Ba30～35m<sup>3</sup>/haに比較して少し高い値であるが、直径分布図のL字型とあわせ、日本海側の多雪地帯のブナ林の特徴を示している。十二湖は1704年に発生したM7の大地震によって大崩が大崩落し生じたとされるが、当調査区は大崩の地滑り移動域に位置することから、周辺のブナ林は300年余りの時間をかけて形成されたと考えられる。最大100cmを超える大径木も見られるほかハウチワカエデ等の小径木も多いが、2005年の測定開始から12年を経て47本の調査対象木が枯死した。一方新規参入木は11本であったことから、調査区の樹木は36本が減少し、2016年(H28)のBa値は34.1m<sup>3</sup>/haに低下した。

<ブナ種子>  
 十二湖におけるブナの種子生産が多かったのは2007年(H19)であるが、核心地域の調査地では顕著な豊作年は2000年(H12)で、2005年以降で比較的多かったのは2005年(H17)、2013年(H25)であった。  
 十二湖においては、核心地域で見られるような明瞭な豊作年を見出しにくい結果であるが、こうした特徴は標高の低いブナ林によく見られるようである。十二湖と核心地域調査地でのブナの種子生産の傾向は連動していないようである。  
 十二湖調査地においては、ブナの実生、低木が少ないが、種子生産の少なさが要因の一つと考えられる。

<気温・湿度・地温>  
 データ整理中。

問い合わせ	青森県深浦町立岩崎中学校 (校長: 工藤勝昭) 指導: 神林友広 (深浦町役場総合戦略課) tomohiro_kanbayashi@town.fukaura.lg.jp <hr/> ≪原本(データ)の帰属について≫ 照会先: 神林友広 (深浦町役場総合戦略課) tomohiro_kanbayashi@town.fukaura.lg.jp
-------	--

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

